

Japan Academic Intelligence Association

日本学術戦略的情報協会®

私立大学情報教育協会

平成28年度 大学職員情報化研究講習会

基礎講習コース報告

D-1班 JAIAN

テーマ

社会で生きる**土台**をつくる



大学の役割

私たちが考えた大学の役割

各大学の特徴、強みを活かした人材育成

女子大

スポーツ

総合大学

宗教



大学の現状

JAIANが立てた現状についての仮説

理想	現状
<u>大学への目的意識が明確にある</u>	希薄である。
<u>自身のキャリア形成に対する意識がある、</u>	遅れている。
<u>大学での学びと「社会」との関連性と自身の学びの意義を理解している。</u>	理解していない。

改善に必要な方針

3.4年次

専門的素養があり、主体的に
行動できる人材。

正課外を通じた経験、学習に
よる自己の形成

四年間の
土台となる部分

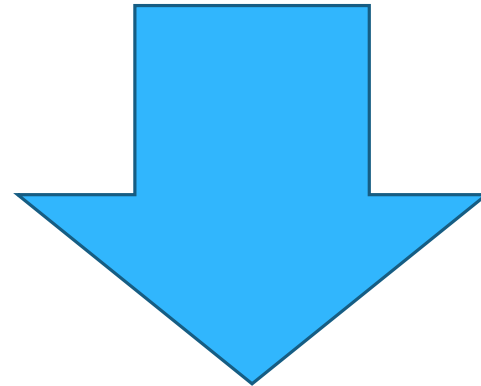
- ・学ぶことへの目的意識
- ・大学と社会とのつながり
- ・キャリア形成意識

1.2年次

これらを踏まえて…

大学の役割、大学の現状を踏まえて

初年次教育



社会で生きる土台をつくる

アプローチ方法:

初年次教育

①目的意識の形成

②学びの転換

(高校生から大学生(大人)へ。)

③大学での学びと社会のつながり

① 目的意識の形成

なぜ大学に行くのか
?????????

様々な仕組み

自分自身や
他者と向き合う
機会を作る。

⇒ 「気づきを促す仕組み」をつくる

大学4年間でやりたいことを、見つける・考える・気づく

②学びの転換 「高校生から大学生(大人)へ。」

- * 一方向の学習スタイルからの転換。
- * インプット(情報収集力)⇒アウトプット(発信力)

受動的
消極的

様々なしくみ

能動的
積極的

- 情報収集力... リソース(資料、人、場所)活用の為の整備
- 発信力... 自分の意見や考えを表現する場所や機会の提供

③大学での学びと社会のつながり

今、自分が学んでいることが

社会にどう生きていくのか？

Ex]

- インターンシップ、民間企業・自治体とのコラボ
- OBとの交流
- 実務スキルの修得→即戦力の育成



→それを知ることで「今」学んでいることや、
今後学んでいくことの意義を知ることができる。

ICTを活用したポートフォリオ

「Entelligence」

提案

基本機能

- * 学生が自身の学習過程(履修登録、資格申請、など)についてここに記録する。
 - ⇒学生自身が自分の学びを振り返ることができる
 - ⇒就職活動時のESにも活用できる
 - ⇒自分以外の人目標や学びを共有できる
- * ターゲティング広告を出す
 - ⇒同じ目的を持った人とつながれる
 - ⇒自分と同じ傾向を持った人を参考にできる
 - 「あなたと同じ目標を持った人はXXXの講義を受講しています。」
 - ⇒自分に必要な情報の収集方法を得ることができる
 - 「XXへ留学に行った人は国際センターのXXXの研修を活用しました。」
- * 学内でのシェア、Like機能も搭載。
- * OBも見れる、情報提供できる
- * すべての学術情報へのアクセスが可能となる学習ツール。
- * なお、個人情報の切り分けについても検討が必要。

大学職員として・・・

- 社会人として学生と接し、事務職員として教育の一部を担ってるという意識を持つ
- 大学の全教職員でポートフォリオの目的を共有し、必要な情報発信を行っていく

